

# 口腔外科の先生方へ

私は、オスラー病（遺伝性出血性毛細血管拡張症：指定難病227）と診断されています。

オスラー病患者の半数以上に、肺の動静脈瘻（動静脈奇形）があるとされ、肺に右・左シャントがあるため、歯科的・口腔外科的治療を行なう時の菌血症による脳膿瘍の予防目的に、予防的な抗生剤の投与が奨められています。

決められた抗生剤はないようですが、ペニシリン系のアモキシシリン（サワシリン・パセトシン）や、より広いスペクトラムを持つオグメンチン配合錠・クラバモックス小児用配合ドライシロップのような複合抗生剤、ペニシリンにアレルギーがある場合は、クリンダマイシン（ダラシン）を、治療直前から数日間、経口投与が奨められています。

歯科的・口腔外科的治療に特別な配慮は不要のようですが、脳膿瘍の予防目的に、抗生剤の投与を、宜しくお願いいたします。

■ 大阪市立総合医療センター小宮山雅樹作成、ver 1.1 (2013/12/15)

■ 提供 特定非営利活動法人日本オスラー病患者会 理事長 村上匡寛  
〒540-0037 大阪市中央区内平野町1丁目2-6-304  
電話 090-3167-3927 FAX 050-3737-5059  
URL <http://www.hht.jpn.com> E-mail [murakami@hht.jpn.com](mailto:murakami@hht.jpn.com)